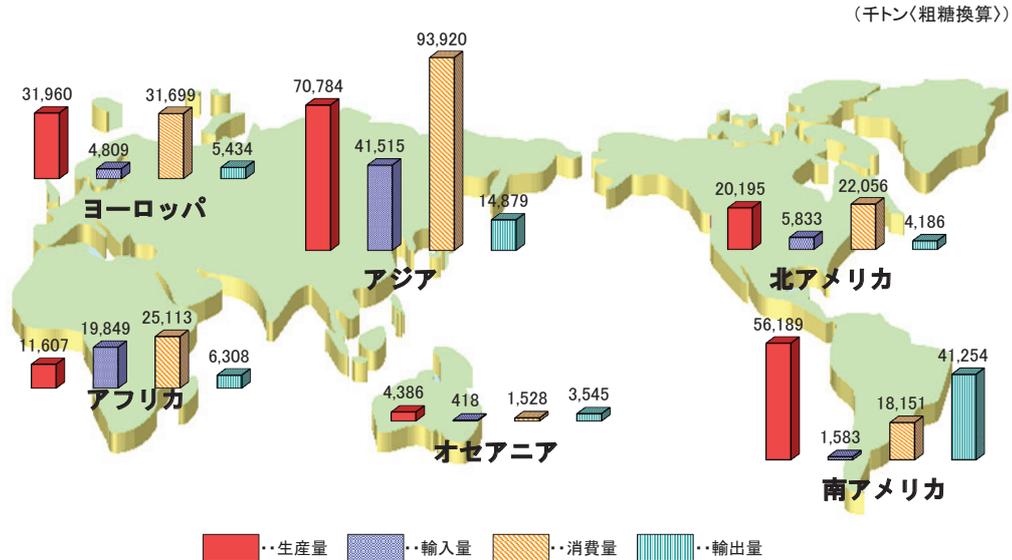


## 砂糖の国際需給

調査情報部 福寿 悠星、峯岸 啓之

### 1 世界の砂糖需給（2024年3月時点予測）

図 絵で見る世界の地域別砂糖需給（2023/24年度予測値）



資料：英国の民間調査会社GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, March 2024」  
 注1：年度は、国際砂糖年度（10月～翌9月）。  
 注2：ヨーロッパには、ロシアを含む。

表 世界の砂糖需給の推移

(単位：千トン (粗糖換算)、%)

年度	期首在庫量	生産量	輸入量	消費量	輸出量	期末在庫量	期末在庫率
1993/94	43,011	111,671	29,296	111,545	30,792	41,641	37.3
1998/99	55,071	134,755	36,987	124,048	39,954	62,812	50.6
2003/04	67,776	143,453	44,661	145,044	47,150	63,697	43.9
2008/09	67,085	150,476	48,241	160,676	49,830	55,297	34.4
2013/14	63,710	184,058	58,323	175,873	61,044	69,173	39.3
2018/19	80,620	186,387	61,458	182,717	61,489	84,259	46.1
2019/20	84,259	181,553	69,270	182,304	71,636	81,142	44.5
2020/21	81,142	181,671	66,752	184,750	68,183	76,632	41.5
2021/22	76,632	186,216	69,331	187,816	71,715	72,648	38.7
2022/23	72,648	191,758	70,396	189,775	71,586	73,441	38.7
2023/24 (2024年3月予測)	73,441	195,119	74,006	192,467	75,607	74,493	38.7

資料：GlobalData UK Ltd 「Quarterly Statistical Update, March 2024」  
 注1：年度は国際砂糖年度（10月～翌9月）。  
 注2：2021/22年度および2022/23年度の数値は推定値、2023/24年度の数値は予測値。  
 注3：期末在庫量は（期首在庫量+生産量+輸入量-消費量-輸出量）。  
 注4：期末在庫率は、期末在庫量を消費量で除した割合。

「世界の砂糖需給」および「主要国の砂糖需給」は四半期ごとの更新となっていますので、次回は2024年7月号の掲載となります。直近の内容は2024年4月号をご参照ください。

「世界の砂糖需給」：[https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07\\_003117.html](https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_003117.html)

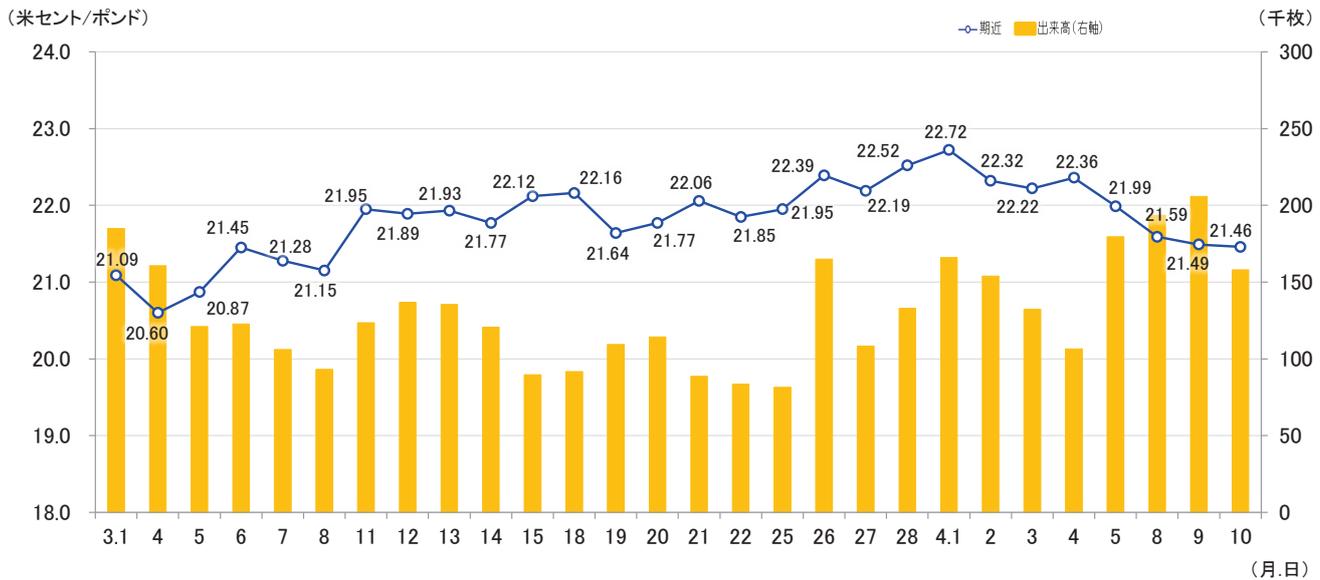
「主要国の砂糖需給」：[https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07\\_003118.html](https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_003118.html)

## 2 国際価格の動向

### ニューヨーク粗糖先物相場の動き (3/1 ~ 4/10)

～5月限は20セント台から22セント台後半まで上昇するも、4月以降は下落～

図 ニューヨーク粗糖先物相場の動き



資料：インターコンチネンタル取引所  
注：期近3月限の値。

2024年3月のニューヨーク粗糖先物相場（5月<sup>が</sup>ぎり限）の推移を見ると、1日は、3月限決済分の受渡し<sup>が</sup>が価格を押し下げ、1ポンド当たり21.09セント<sup>(注1)</sup>をつけた（図）。4日は、ブラジルサトウキビ産業協会（UNICA）が23/24年度の増産を発表したことから、同20.60セントと2カ月ぶりの安値となったものの、5日以降は、インドの減産見通しなどにより、6日には、同21.45セントに上昇した。7日以降は、欧州委員会による増産報告やブラジルでの雨の予報などにより、8日は、同21.15セントまで下落したものの、11日は、ショートポジションをカバーするための買い戻し<sup>(注2)</sup>から上昇し、同21.95セントをつけた。12日以降は、ブラジルの砂糖やインドのサトウキビの増産が予想されたことなどから、14日には、同21.77セントまで下落したものの、ガソリン価格が約6カ月ぶりの高値を記録<sup>(注3)</sup>したことから、18日は、同22.16セントを

つけた。19日は、ブラジルのリアル安<sup>(注4)</sup>により、同21.64セントまで下落したものの、20日以降は、一転してリアル高となったことから、21日には、同22.06セントまで上昇した。その後、22日は、ドル高で下落に転じたものの、25日以降は、米国の砂糖製造者団体がメキシコからの砂糖輸入を削減するよう政府に求めた影響により、26日は、同22.39セントまで上昇した。27日には、ブラジルでの砂糖の増産を受け、同22.19セントまで下落したものの、28日は、原油価格が高値を記録したことなどにより、同22.52セントまで上昇した。

4月1日は、引き続き原油高により、同22.72セントをつけたものの、2日以降は、インドでの砂糖の増産やタイでの砂糖の生産見込みが予想を上回ったことなどから、3日には、同22.22セントまで下落した。4日は、ブラジルのリアル高で一時的に上昇に転じたものの、5日以降は、タイでの砂糖の生

産見込みが予想を上回ったことに起因して供給に対する懸念が和らいだことなどから、再び下落し、10日には、同21.46セントをつけた。

- (注1) 1ポンドは約453.6グラム、1米セントは1米ドルの100分の1。
- (注2) 将来の値下がり期待して売りの持ち高を取っている状態。
- (注3) 一般に、原油価格（またはガソリン価格）が上昇すると、石油の代替燃料であるバイオエタノールの

需要も増加する。バイオエタノールの需要増加により、その原料作物（サトウキビ、てん菜など）のバイオエタノール生産への仕向けが増える一方、それらから生産される食品（サトウキビの場合は砂糖）の生産・供給が減ると想定される。食品用途仕向けの割合が小さくなるほど需給がひっ迫し、当該食品の価格を押し上げる方向に作用する。

- (注4) 粗糖は米ドル建てで取引されるため、米ドルに対してレアルが下落すると、相対的にブラジル産粗糖の価格競争力が高まる。世界最大の砂糖輸出国ブラジルの輸出意欲が高まると、需給の緩和につながることから、価格を押し下げる方向に作用する。

### 3 世界の砂糖需給に影響を与える諸国の動向（2024年4月時点予測）

#### ブラジル

##### 2024/25年度（4月～翌3月）の見通し

<b>【サトウキビ】</b> 収穫面積：853万ha（前年度比1.4%増） 生産量：6億4345万トン（同10.1%減）	<b>【砂糖（甘しや糖）】</b> 生産量：4778万トン（同3.6%減） 輸出量：3820万トン（同0.7%増）
--	---

#### 2024/25年度の砂糖輸出量は、わずかに増加する見込み

2024/25年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、853万ヘクタール（前年度比1.4%増）とわずかに増加が見込まれている（表）。一方でサトウキビ生産量は、主産地の中南部地域で10月から翌1月にかけて降雨が少なかったことなどから、6億4345万トン（同10.1%減）とかなりの程度減少が見込まれている。

砂糖生産量は、サトウキビの減産見込みを背景に、4778万トン（同3.6%減）とやや減少が見込まれているものの、過去最高と見込まれる2023/24年度に次ぐ生産量が予想されている。

砂糖輸出量は、生産量がやや減少見込みであるものの、インド産やタイ産の輸出が振るわないことから、引き続き国際市場でのブラジル産の砂糖需要の高まりが期待され、3820万トン（同0.7%増）とわずかな増加が見込まれている。

表 ブラジルの砂糖需給の推移

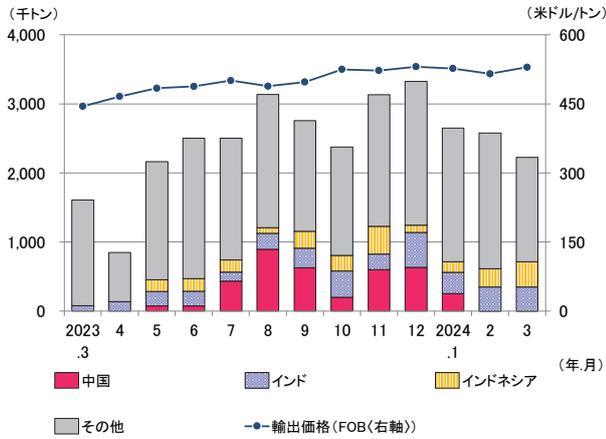
（単位：千ha、千トン、%）

年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (4月予測)	前年度比 (増減率)	
サトウキビ収穫面積	8,679	8,485	8,413	8,532	1.4%	
サトウキビ生産量	576,707	606,676	715,681	643,450	▲ 10.1%	
砂糖	生産量	37,620	39,720	49,580	47,780	▲ 3.6%
	輸入量	5	2	5	4	▲ 20.0%
	消費量	10,712	10,551	10,710	10,695	▲ 0.1%
	輸出量	27,093	28,985	37,945	38,196	0.7%
	期末在庫量	3,287	3,472	4,402	3,295	▲ 25.2%
	期末在庫率	8.7	8.8	9.0	6.7	2.3ポイント減

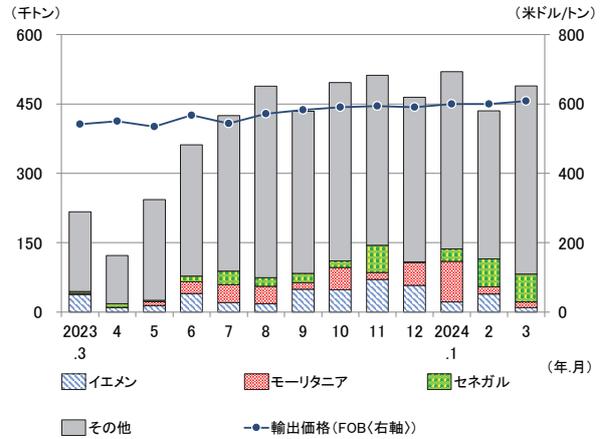
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, April 2024」  
 注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。  
 注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) ブラジルの砂糖 (粗糖・精製糖別) の輸出量および輸出価格の推移

粗糖



精製糖



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

インド

2023/24年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：522万ha（前年度比4.1%減）

生産量：4億3572万トン（同4.4%減）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：3490万トン（同1.4%減）

輸出量：445万トン（同48.5%減）

2023/24年度の砂糖輸出量は、減産と国内供給の確保により大幅に減少する見込み

2023/24年度（10月～翌9月）のサトウキビの収穫面積は、522万ヘクタール（前年度比4.1%減）とやや減少が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、主産地であるマハラシュトラ州では前年を上回るものの、ウッタル・プラデーシュ州東部では冬季の降雨が少なく、サトウキビの成長に影響したことなどから、4億3572万トン（同4.4%減）とやや減少が見込まれている。

砂糖生産量は、同国政府が砂糖への仕向け量を優

先させるため、サトウキビ由来のエタノール生産を制限したことを受けて、前回予測からさらに上方修正されたが、ウッタル・プラデーシュ州でのサトウキビの減産などにより、3490万トン（同1.4%減）とわずかな減少が見込まれている。また、同国政府は糖みつの国内利用を促進するべく、24年1月中旬に糖みつ輸出に対し50%の関税を導入した。

砂糖輸出量は、砂糖の減産見込みに加え同国政府による輸出制限により、445万トン（同48.5%減）と前年度の半分程度の水準となる大幅な減少が見込まれている。

表 インドの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

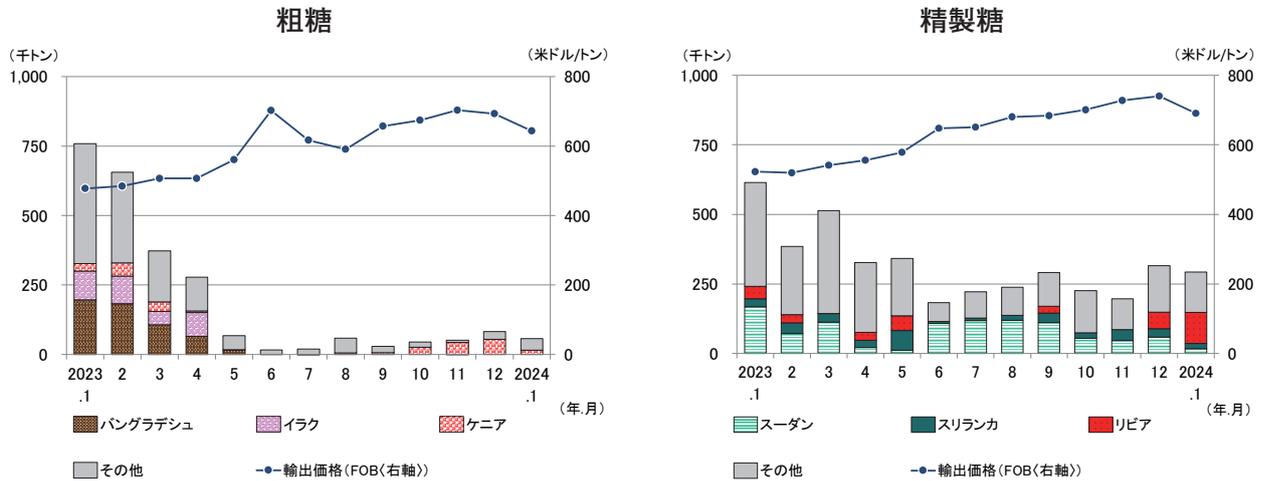
年度	2020/21	2021/22	2022/23	2023/24 (3月予測)	2023/24 (4月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	4,819	5,222	5,441	5,215	5,215	▲ 4.1%
サトウキビ生産量	415,221	481,599	455,898	439,083	435,724	▲ 4.4%
砂糖	生産量	33,642	38,559	35,389	34,774	▲ 1.4%
	輸入量	1,037	427	1,687	3,233	2.1倍
	消費量	28,679	29,516	30,078	31,320	4.1%
	輸出量	8,538	12,468	8,646	3,759	▲ 48.5%
	期末在庫量	7,971	4,973	3,325	6,252	82.5%
	期末在庫率	21.4	11.8	8.6	17.8	17.0

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, April 2024」

注1：2021/22年度および2022/23年度の数値は推定値、2023/24年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) インドの砂糖(粗糖・精製糖別)の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14(粗糖)および1701.99(精製糖)の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月(累計)の上位3カ国・地域を表示。

## 中国

### 2023/24年度(10月～翌9月)の見通し

**【サトウキビ】**

収穫面積：116万ha(前年度比5.3%増)

生産量：7295万トン(同16.5%増)

**【てん菜】**

収穫面積：18万ha(同1.1%減)

生産量：943万トン(同8.2%増)

**【砂糖(甘しゅ糖およびてん菜糖)】**

生産量：1064万トン(同9.7%増)

輸入量：732万トン(同24.5%増)

### 2023/24年度の砂糖生産量はかなりの程度、 輸入量は大幅に増加の見込み

2023/24年度(10月～翌9月)のサトウキビの収穫面積は、116万ヘクタール(前年度比5.3%増)

とやや増加が見込まれている(表)。サトウキビ生産量は、広西チワン族自治区と雲南省における1月の降霜が生育の懸念材料となっていたものの、サトウキビの収穫作業は順調に進んだため、7295万ト

ン（同16.5%増）と大幅な増加が見込まれている。一方で、てん菜の収穫面積は、<sup>しんきょう</sup>新疆ウイグル自治区で寒さによる部分的な不作が生じたことなどから、18万ヘクタール（同1.1%減）とわずかな減少が見込まれている。てん菜生産量は、収穫面積が減少する中で、機械化が進んだことなどにより、単収が増加したことで、943万トン（同8.2%増）とかなり

の程度増加が見込まれている。

砂糖生産量は、原料作物の生産回復を背景に、1064万トン（同9.7%増）とかなりの程度増加し、21/22年度の水準にまで回復が見込まれている。輸入量は、引き続き需給ギャップを埋めるための一定の輸入量が予想されることから、732万トン（同24.5%増）と大幅な増加が見込まれている。

表 中国の砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

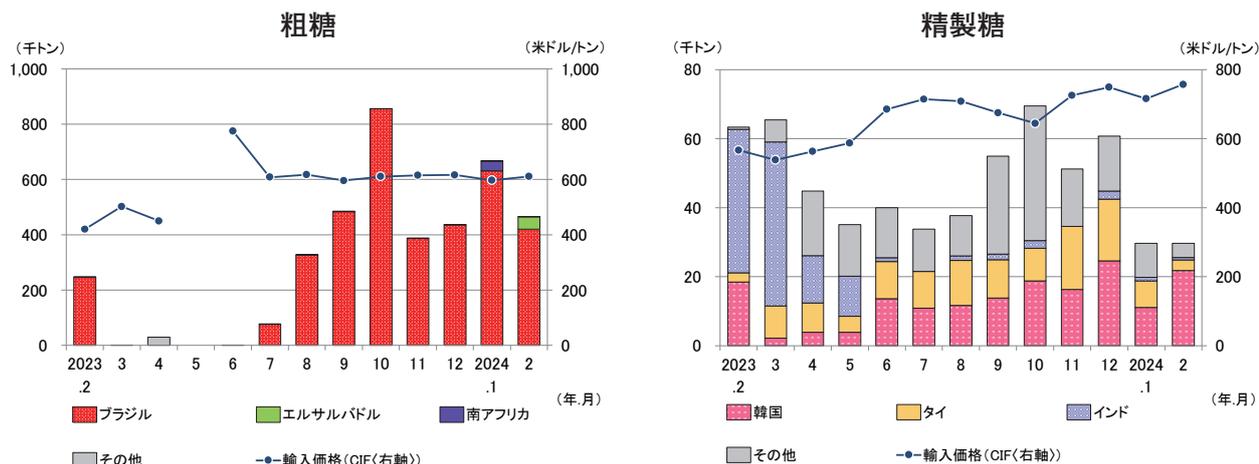
年度	2020/21	2021/22	2022/23	2023/24 (3月予測)	2023/24 (4月予測)	前年度比 (増減率)	
サトウキビ収穫面積	1,157	1,119	1,102	1,160	1,160	5.3%	
サトウキビ生産量	72,441	72,136	62,595	70,631	72,953	16.5%	
てん菜収穫面積	231	144	182	180	180	▲1.1%	
てん菜生産量	12,330	7,070	8,719	9,247	9,432	8.2%	
砂糖	生産量	11,530	10,334	9,698	10,624	10,639	9.7%
	輸入量	8,186	6,969	5,879	7,331	7,319	24.5%
	消費量	16,740	16,632	16,578	16,956	16,956	2.3%
	輸出量	134	172	201	236	236	17.3%
	期末在庫量	16,089	16,587	15,386	16,149	16,152	5.0%
	期末在庫率	95.3	98.7	91.7	93.9	94.0	2.3ポイント増

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, April 2024」

注1：2021/22年度および2022/23年度の数値は推定値、2023/24年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 中国の砂糖（粗糖・精製糖別）の輸入量および輸入価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

注3：2023年3、6月の粗糖輸入量は、千トン未満のため表示なし。

注4：2023年5月の粗糖輸入は、実績なし。

## 4 日本の主要輸入先の動向（2024年4月時点予測）

近年、日本の粗糖（甘しゅ糖・分みつ糖<HSコード1701.14-110>および甘しゅ糖・その他<同1701.14-200>の合計）の主要輸入先は、豪州およびタイである。2023年の主要輸入先の割合を見ると、豪州が91.6%（前年比0.8ポイント増）、タイが8.4%（同0.9ポイント減）と、両国でほぼ全量を占めている（財務省「貿易統計」）。

### 豪州

#### 2024/25年度（4月～翌3月）の見通し

##### 【サトウキビ】

収穫面積：36万ha（前年度比1.4%増）

生産量：3184万トン（同7.0%増）

##### 【砂糖（甘しゅ糖）】

生産量：410万トン（同1.2%減）

輸出量：304万トン（同1.8%減）

#### 2024/25年度の砂糖輸出量は、わずかに減少する見込み

2024/25年度（4月～翌3月）のサトウキビの収穫面積は、36万ヘクタール（前年度比1.4%増）とわずかな増加が見込まれている（表）。サトウキビの生産量は、主産地であるクイーンズランド州北部が23年12月にサイクロン「ジャスパー」による洪水などの被害を受けたものの、夏季に高温多雨の天候が続いたことにより、サトウキビ自体は非常に順調な生育状態となったことから、3184万トン（同7.0%増）とかなりの程度増加が見込まれている。

一方、砂糖生産量は、ここ数年、製糖工場におけ

る製糖効率の低下（破碎期間の延長）により、サトウキビの収穫期が適期を超過し、サトウキビの可製糖率(CCS)<sup>(注)</sup>が低下することが課題となっており、410万トン（同1.2%減）とわずかな減少が見込まれている。

砂糖輸出量は、アジア地域や50年ぶりに輸出が再開された英国向けの需要が引き続き期待されるものの、砂糖の減産見込みにより、304万トン（同1.8%減）とわずかな減少が見込まれている。

(注) 可製糖率：サトウキビのショ糖含有率、繊維含有率および搾汁液の純度から算出される回収可能な糖分の割合。

表 豪州の砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (4月予測)	前年度比 (増減率)	
サトウキビ収穫面積	343	328	353	358	1.4%	
サトウキビ生産量	30,123	32,593	29,757	31,841	7.0%	
砂糖	生産量	4,108	4,298	4,149	4,100	▲1.2%
	輸入量	9	8	12	11	▲8.3%
	消費量	1,051	1,052	1,061	1,068	0.7%
	輸出量	3,453	2,957	3,100	3,043	▲1.8%
	期末在庫量	358	654	654	654	▲0.0%
	期末在庫率	7.9	16.3	15.7	15.9	0.2ポイント増

資料：GlobalData UK Ltd. [Monthly Sugar Information in Major Countries, April 2024]

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

## タイ

### 2023/24年度（10月～翌9月）の見通し

#### 【サトウキビ】

収穫面積：152万ha（前年度比6.2%減）

生産量：8200万トン（同12.7%減）

#### 【砂糖（甘しゃ糖）】

生産量：928万トン（同20.6%減）

輸出量：632万トン（同23.2%減）

### 2023/24年度の砂糖生産量と輸出量は、大幅に減少する見込み

2023/24年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、エルニーニョ現象などによる干ばつ傾向を考慮して、より乾燥に強いキャッサバに転換する農家が増加したことで、152万ヘクタール（前年度比6.2%減）とかなりの程度減少が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、収穫面積の減少に加え、エルニーニョ現象による天候不順がサトウキビの生育に大きく影響したことで、8200万トン（同12.7%減）とかなり大きな減産が見込まれている。

砂糖生産量は、サトウキビの減産やこれまでの収穫分のCCSの数値が低いことから、928万トン（同20.6%減）と大幅な減少が見込まれている。同国のサトウキビ・砂糖委員会事務局は、製糖工場に納入されるサトウキビに梢頭部<sup>しょうとうぶ</sup>や葉などの収穫残渣<sup>とごり</sup>が多く、今後、砂糖生産量の低下が懸念されるとして、収穫残渣の混入防止策を検討していることを明らかにしている。

砂糖輸出量は、砂糖生産量の減少を背景に632万トン（同23.2%減）と大幅な減少が見込まれている。

表 タイの砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

年度	2020/21	2021/22	2022/23	2023/24 (3月予測)	2023/24 (4月予測)	前年度比 (増減率)	
サトウキビ収穫面積	1,485	1,525	1,617	1,518	1,518	▲ 6.2%	
サトウキビ生産量	66,659	91,145	93,888	82,000	82,000	▲ 12.7%	
砂糖	生産量	8,046	10,643	11,682	9,245	9,275	▲ 20.6%
	輸入量	111	149	281	150	150	▲ 46.7%
	消費量	3,592	3,424	3,348	3,350	3,350	0.1%
	輸出量	3,981	8,085	8,229	6,321	6,321	▲ 23.2%
	期末在庫量	5,116	4,400	4,786	4,515	4,539	▲ 5.2%
期末在庫率	67.6	38.2	41.3	46.7	46.9	5.6ポイント増	

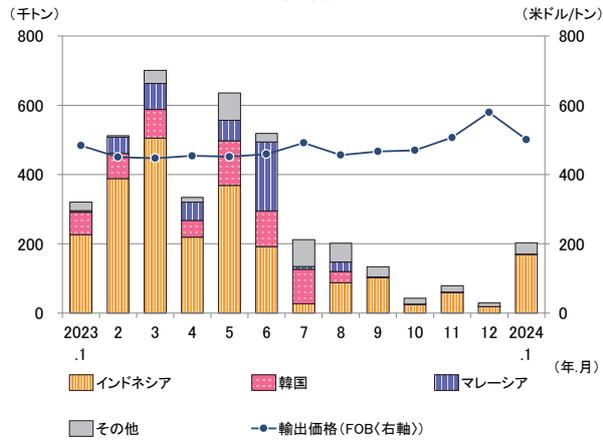
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, April 2024」

注1：2021/22年度および2022/23年度の数値は推定値、2023/24年度の数値は予測値。

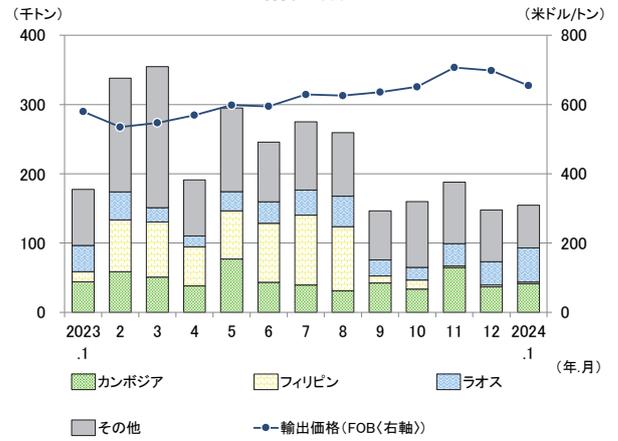
注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) タイの砂糖 (粗糖・精製糖別) の輸出量および輸出価格の推移

粗糖



精製糖



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。